

## 第24回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成26年5月26日（月） 10：00－12：05

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、中須賀委員、山川委員、山崎委員

(2) 政府側

山本内閣府特命担当大臣（宇宙政策）、松山内閣府事務次官、西本宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

冒頭、山本大臣から以下のような挨拶があった。

山本大臣：

- ・一昨日（5月24日）、「だいち2号」を載せたH-IIA24号機が打上成功した。H-IIA、H-IIB、イプシロン合わせて23回連続成功である。日本の宇宙利用拡大に大きな後押しであり、関係者のご努力に敬意を表したい。
- ・本日は、「平成27年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針」の取りまとめの議論をして頂く。「宇宙利用の拡大」と「自律性の確保」の実現に向け、骨太の方針の取りまとめをお願いしたい。
- ・取りまとめられた「戦略的予算配分方針」は、私（山本大臣）の名前で各大臣に通知する。各省は、同方針に従って概算要求をしていただきたい。概算要求後も予算が政府原案になるまでしっかりフォローアップしてまいりたい。

(1) 宇宙科学・探査部会からの報告、宇宙輸送システム部会からの報告、宇宙産業部会からの報告

「平成27年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針」に対する宇宙科学・探査部会の意見について、資料1及び資料2に基づいて松井部会長から報告を行った。次に、宇宙輸送システム部会の意見について、資料3、資料4に基づいて山川部会長から報告を行った。次に、宇宙産業部会の意見について、資料5、資料6に基づいて中須賀部会長代理から報告を行った。

(2) 平成27年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針（経費の見積もり方針）（案）について

平成27年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針（案）について、資料7に基づいて事務局から説明した後、審議を行った。

主な意見は以下の通り。

○宇宙輸送システム部会において将来輸送系を検討していくに当たっては、他国における取組状況を踏まえ、国際連携の可能性を含めた検討を行っていく必要もあると思うが、まずは自国で技術を蓄積していくことを考える必要がある。

- 宇宙産業部会では、「衛星等の宇宙インフラの開発・整備・運用の中長期ビジョン」策定の必要性が強く認識された。これは産業化のみならず、安全保障、外交の観点も含むため、宇宙政策委員会の場でも検討していく必要がある。
- 毎年の「戦略的予算配分方針」の策定に加え、例えば、宇宙基本計画の進捗状況を踏まえ、中長期的に何を実施する必要があるのか等、大枠について宇宙政策委員会で議論し、各部会でさらに議論を深めてもらうような形で、今後の審議を進めてはどうか。

資料7については、一部字句修正することで宇宙政策委員会として了承された。具体的な字句修正については、委員長に一任された。

以上